



令和 5 年 8 月 1 日(火) 例会 (第2878回) 報告 (晴) No.2706

出席率 …… 27/40 76.32% 第2876回補正出席率 …… 34/38 89.47%

欠席者 角田、定秀、島谷、友森、中田、中村、浜田(一)、浜田(貴)、平岡、福嶋、堀田、松井、村山

メイクアップ(理事会) 12名 (少年ナイター) 13名

出席免除 足立、岡空、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 赫 太郎 会長

今日の会長時間はポリオデーイベントの案内になります。

10月6日(金)夜に、みなとテラスの市民ホールで開催される「京都フィルハーモニー室内合奏団プレミアムコンサート スペシャルゲスト 佐田山千恵」に5RC共同で特別協賛を行い、チケットの売上1枚あたり500円がポリオ寄付になります。境港RCは当日独自に会場で、社会奉仕委員会とロータリー財団委員会が協力して募金活動を行いますので、皆様の参加とチケットの購入をお願いします。

◆幹事報告 瀬戸良三 幹事代行

◎クラブ活動・運営計画書、配布 ◎世界ポリオデーイベント特別協賛「京都フィルハーモニー室内合奏団プレミアムコンサート」チラシ配布。チケットを事務局にて販売中。是非ご利用を。◎「月信第2号」「財団室ニュース8月号」◎明日対戦の渡スポ少より、全国大会への「寄付金のお願い」が届く ◎本日例会後、「8月定例理事会」

《新会員バッジ授与式》

新会員 佐藤浩延(さとう ひろのぶ)さん
事業所 合同会社 境港エネルギーパワー
役職 社長
生年月日 昭和38年8月10日(59歳・卯年)



新会員 小藤善之(ことう よしゆき)さん
事業所 米子信用金庫 境港支店
役職 支店長
生年月日 昭和49年1月25日(49歳・寅年)



◆委員会報告

◎未来委員会…三輪昌輝 委員長

中海大会と友好クラブについてアンケートを実施します。率直なご意見をお寄せください。

◎職業奉仕委員会…北國恵久 委員

今年度の地区補助金事業として、境二中1年生を対象に「職業講話」を行います。昨年企業の紹介パンフレットの修正、新規追加などあればご一報ください。

◎青少年奉仕委員会…山崎慎也 副委員長

明日、ナイターで対戦する渡スポ少が全国大会出場の為、交通費等への寄付金を募っています。ご協力をお願いします。

— スマイルBOX —

◎石原場長をお迎えして。卓話よろしくお願ひします。川田、喜多村、酒井(英)、庄司、谷田、北國、鷲澤【佐藤さん、小藤さん】
◎入会おめでとうございます 上田、瀬戸 ◎入会ありがとうございます 小坂 ◎未来委員会のアンケート、ご協力お願ひします。三輪 ◎明日の少年ナイター、楽しみましょう。赫 ◎暑さに負けず、ガンバリましょう。木村 ◎スマイルに協力 松本(勝)

【会計報告】

Table with financial reports for 2022-23 and 2023-24 fiscal years, including items like 決算報告, 監査報告, 予算報告 and names like 松本勝志, 酒井英, 北國恵久.

◆8月行事予定(会員増強・新クラブ結成推進月間)

- 8/11~15 事務局夏季休業
15(火) 休会(定款7条)
29(火) 夜間例会(18:30~ 由志園)

— プログラム —

「水産試験場の業務紹介とクロマグロの資源管理状況等について」

鳥取県水産試験場 場長 石原幸雄 氏

鳥取県水産試験場では主に次の4つの業務を行っています。



- ①海洋観測：海洋環境把握のため、山陰沖の海水温等を試験船「第一鳥取丸」で観測。
②資源調査：沖合漁業で漁獲されるアジ・サバ・イワシ類、クロマグロ、ズワイガニ、ハタハタ、カレイ類、スルメイカ、ベニズワイガニ等の水産資源状況を把握する調査(市場水揚げ魚調査、試験船での稚魚調査等)。
③水産物の鮮度保持やブランド化：良い県産魚を良い状態で消費者へ届けるための調査。
④スマート漁業の推進：沿岸漁業で効率的な操業に重要な潮流情報等について、観測ブイや予測の情報を漁業者の方へ提供。試験船のいか釣り漁場探索調査結果も提供。
⑤中海：中海で魚類の育成場や餌場となる藻場の簡易造成方法や企業と共同でマハゼの陸上養殖を試験。

次に、今漁期を終了(7/19)した境港の夏の特産であるクロマグロは、太平洋に広域に分布回遊する魚で、資源が減少したため我が国が国際的にリーダーシップをとり、小型魚の漁獲を抑制削減し大きく育ててから漁獲する資源管理を推進しています(2010年~)。

日本海側では、生産者(大中型まき網漁業)の皆さんが、小型魚の漁獲量削減に加え大型魚の漁獲量削減や漁期短縮する自主規制を早期に行ったことや我が国及び関係国の資源管理により親魚資源量が順調に回復しています。そのため、昨年国際的漁業管理機関であるWCPFC(中西部太平洋まぐろ委員会)で日本の大型魚の漁獲枠が増枠されました。

このクロマグロを良い例とし、水産庁では我が国の水産資源の新たな資源管理として、全国の主要産地市場の水揚量の収集体制を構築するとともに、漁獲利用している魚種が持続的に最大の漁獲量となることを目指し、資源評価の高精度化や魚種拡大、TAC(漁獲可能量)管理する魚種の拡大等を進めています。

次回(8月15日)

休会
(定款7条)

次々回(8月22日) プログラム

「新会員卓話」/「国際大会について」
上田康文 会員 赫 太郎 会長

今回(8月8日) プログラム

「日本とネパールの若者と子どもを中心に両国の地域の発展を考える」
東亜青果(株) 国際業務担当 バイディア・エリザ 氏